

諏訪湖だより

クリーンレイク諏訪版



第7号 (H27.1月発行)

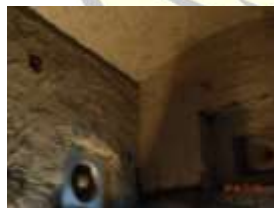
今月のトピックス

① 溶融棟の定期修繕を行いました。

平成26年11月に溶融炉や結晶化炉等の定期修繕を行いました。

下水を処理する過程で取り除いたゴミや汚泥は、まず焼却炉で燃やして焼却灰にします。それを溶融炉に運び溶かし固めることで、黒曜石のような石ができます。この状態では強度が足りないため、結晶化炉で1000℃の熱をかけて結晶化し、人工骨材にしています。人工骨材は道路や下水道管の工事などで有効利用されています。

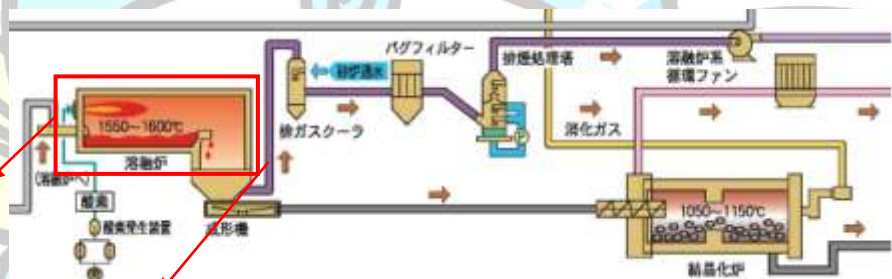
溶融炉や結晶化炉は当処理場において重要な設備であり、定期的に分解して清掃、修繕を行っています。



溶融炉内の様子



配管に溜まっていた灰の塊



清掃前の配管の様子

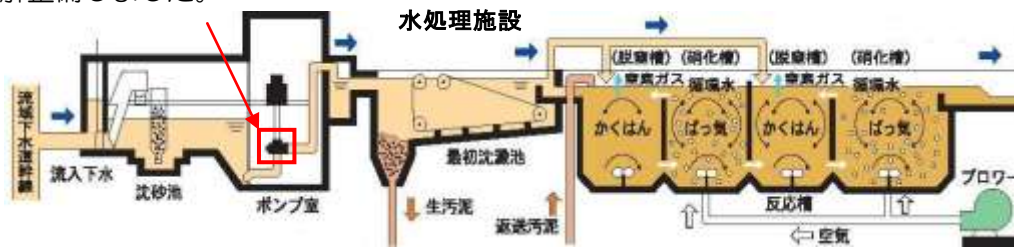


清掃後の配管の様子

ドリルなどで削り落とします！

② 主ポンプを分解整備しました。

平成26年11月から12月にかけて、家庭や工場から流れてきた下水を水処理施設に送るための主ポンプを分解整備しました。



主ポンプは、とても重要な設備であり、定期的に分解整備しています。羽根車とその周りを囲む部品は、ポンプを長い間運転すると少しずつ削れてしまうため、隙間が大きくなって下水を送り出す能力が下がってしまいます。このため、隙間をできるだけ小さくするための整備をしました。

整備後、主ポンプは順調に下水を送り出しています。



主ポンプの羽根車を引き揚げたところ

羽根車の羽根の拡大写真



整備前

整備後

整備により、羽根の高さが調整され、表面がきれいになりました。

平成26年12月10日に処理場周辺清掃（武井田川・鴨池川・処理場前諏訪湖畔のゴミ拾い）を行いました。

《集まったゴミ》

12月10日

空き缶（アルミ）	6本
空き缶（スチール）	20本
ビン	10本
可燃ごみ	1/3袋（90Lごみ袋）
ペットボトル	5本

